

# 我が園の再建築



名古屋市立第三幼稚園長

浅野壽美子

戦災をうけた幼稚園は其の後中々復興が困難で、幼児教育の爲にまことに遺憾にたえないことと存じます。私も其の中の一人として言いつくされない程の困難を克服しながら、漸く一部分ではありますが園舎の建築にかゝつて居りますこととて『幼児の教育』のおもとめに従い、一つの小さい経験として御参考になれば幸と存じ、いさゝかその経過と建設中の設計等につきお話させていただきます。思います。

☆

一 建設の運びに到つた経過について  
昭和二十一年二月からこちらへ小學校の一隅に、設備もない教室に、自由に遊べない運動場に、どうしたら、幼稚園らしい環境をかもし出すことが出来るかと私共は一通りでない苦心をつづけてまいりました。そうして、以前の機跡からはほど遠い新しい土地ではありましたが、是非ともこの近くに園舎を建てよ、この土地に居つて賃はねばという在園児修了児の父兄其の他有力な方達の熱望によつて、市立第三幼稚園復興後援會が結成されたのは昭和二十三年十二月でありました。

土地の選定、資金等について考へられると共に市當局並に教育委員會へ、建設費の一部

は負擔致しますから一日も早く園舎の再建を進めて下さいと、度々の陳情にまいりました。

然し初めのうちは『幼稚園の必要性は充分認めているが、義務教育機關である小中學校の復舊が出来ないのに幼稚園に手をつけることは大ケ敷い。今暫く待つてほしい』とのお答えよりいたゞけませんでした。しかし、後援會の役員の誠意は皆様の心を動かし、建設費の一部を負擔すればそれに相應する助成金をもつて園舎の一部を作らうという市當局の言質をとることが出来ました。こゝに於て一同希望にもえて資金の調達に進みました。

☆

會員の寄附金はもとより、演藝會、パサー等々次々と計畫されました。會長は人望家であり二十年前の修了児のお父様でした。顧問には土地の公職者をいたゞき、役員の方々の中には前年度既にお子様を修了された方も多かつたのですが、皆我が事の様に、募金の爲に、毎日々々歩いて下さいました。その御熱心なお姿を機度心の中で拜んだこととございませう。

『園長ががんばれどんな苦しみにも負けるな』と皆様から暖かい、勵ましをいたゞいて、と

もすれば、崩れかける心を鞭うつては、私も無我夢中で努力をつづけました。

☆

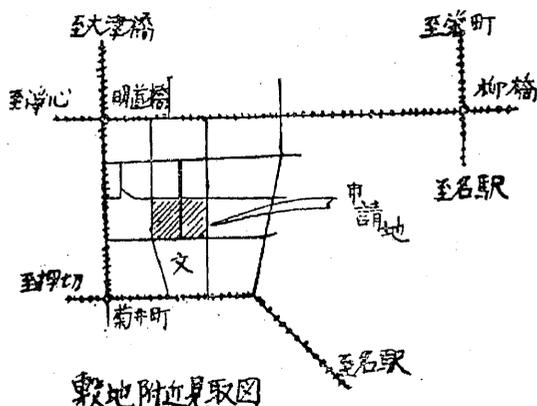
そして、丁度後援會が結成されて一年後豫定額の貳百萬圓の寄附金を市當局に納め、工費四百萬圓の豫算を以て、昭和二十四年十二月二十七日初雪に清められつゝ起工式を舉行することが出来ました。『後援會の方々の岩をも通ず御熱意、休みもなく努力する先生方逢う度に白髪のおえる園長の姿に、よくやつてくれると感じた』と、涙を流しての實感のことつた渡邊さんの祝詞にも『小父さん達、お父さん、お母さん、僕等の幼稚園のお家が出来た様にして下さつて有がとう』との幼児たちの可愛らしい謝辭にも、皆袖をしぼる感激のこの日を、どんなに喜びに燃え感謝に溢れて迎えたか、御想像下さいませ。以來工事場へ立よつて一日々々に築かれて行く姿を見ることが、何よりの楽しみですが、三月中に完了の豫定がむづかしく、五月末日には落成の運びになりと存じます。子供達と後援會の方々と共に迎えるそのうれしい日を指折り數えて待つてゐる私の現在でございます。

☆

二 設計に當つての留意した點について  
先づ私の幼稚園の現況を申し上げますが、現在本園(新明小学校内)七組、分園(江西小學校内)四組、幼児數合計三百二十人という、とほりもない幼稚園です。勿論獨立園にする爲に設けた分園でしたし豫算の關係で、どうすることもならない状態ですが、地域的に分園は存続する必要がありますので、従つて今度の建築に當りどの程度のもを配置するか第一次工事は、どこから初めるかと云うことに苦心致しました。

私の案としては、遊戯室(一) 保育室(八) 休養室(一) 應接間(一) 職員室(一) 準備室(一) 和室(二階に) 小使室(一) 手洗場便所、其の他物置。以上のものを二三年計畫でもよいから順次に建設して行きたいと思ひ先づ何から始めるかと云うことを考へました長い間その多くの子供達が一緒に集う場所がない爲に行事等を行う場合にも、非常に困つたことが身にしみ、何をしても一番初めに遊戯室をと存じました。保育室は當分は現状のところを使うことも出来ませんので、豫算の不足分だけは保育室を第二次工事に廻すことに致しました。その結果次の設計圖の通り、遊戯室(五十四坪一) 保育室(十二坪二) 同

(十六坪一) 同(十二・七五坪一) 休養室(五・二五坪) 職員室(十・五坪) 應接室(六坪) 小使室(七坪) 便所、物置其の他、總建坪(二三〇坪)の、建築にかゝることになりました。



市建築課の技師都築氏はよく私のむづかしい希望を容れて、幼児の世界をいろ／＼研究し、苦心して設計に當つて下さいましたの

以下その留意された一、二の點について記していただきます。

一 此の幼稚園を設計するに當り、私は自然との融和に重點をおき、子供の世界を少しでも澤山の夢で盛り、楽しい雰圍氣として、園児達が成長の後も幼かつた時通つた幼稚園の美しく、楽しい想出を懐かしませるに足る環境を建物によつて創り出す様に心がけました。

二 保育室は劃一的ではありませんが全部南に面し、廊下又は花壇を配した「テレス」を隔てた中庭に面し、全部開放出来る引込戸とし北側は窓を高くして壁面を多く致しました。中庭は屋根のない保育室と考へ、そのつながりを滑かにすることに努力致しました。十二坪のせまい部屋は廊下を保育室の一部とすることが出来る様に考へ、又室内の家具は出来るだけ造りつけとする様に計畫致しました。

三 遊戯室、職員室、應接間、休養室を配したこの一棟は遊戯室であると同時に、時には講堂ともなるであらうこの室の構想には、非常に苦心し、上品なしかも明るい楽しい場所とし、三十尺もある硝子張りにした吹抜のある階段室(階段室並にギャラリ

一等は園長の言によれば子供達の圖書室ともなり、お話し出来る場所であり時にはお母さん方の圖書館にもなる様な有効な場所としたいとのことです)を昇れば、遊戯室が階上から眺められ、その一部から滑り臺によつて遊戯室に送り降りれる様にし、來客もこうした幼児達の雰圍氣にひたりつゝ應接室に通る様にする等、空間構成にも可成努力致しました(都築氏談)。

私としてたゞ一つ残念なことは、技師と共に東京、文部省にも園舎に對する御意見を伺い又幼児教育の權威者であられる倉橋先生及川先生にも色々御指導をうけたにかゝはらず期日が迫つて設計の變更が出来なくなつたこと敷地豫算の關係其の他數々の理由の許に實現出来なかつたことの多いことを申譯なく遺憾に思います。其の一つは、最も大切である男女別の便利をつくれなかつたことであります。然し、第二次工事を致します時に今一つ便所をつくりますので、その時には、實行出来る様に致す心組でございます。今後新しく御建築の場合は決して、私の失敗をくりかへされぬ様、慎重に御設計下さいますことをお願い申上げて此の稿を終りたいと存じます。

(設計見取圖次頁參照)

### 保育研究會責任編輯

## 月刊 保育の友

がいよいよ創刊發賣となりました。

十二月誌上で御知らせいたしました厚生省兒童局保育課内・保育研究會責任編集による、標題月刊誌の創刊號が出版しました。御購読御希望の向きは各縣の兒童課又はフレールベル館代理店に御連絡下さいませ。(一年分六〇圓)

### 創刊號目次

保母は優秀寫眞技師で

なければならぬ

高島 巖

### 一九五〇年の保育界にのぞむ

谷川・平田・山下・秋田・平野・山口外

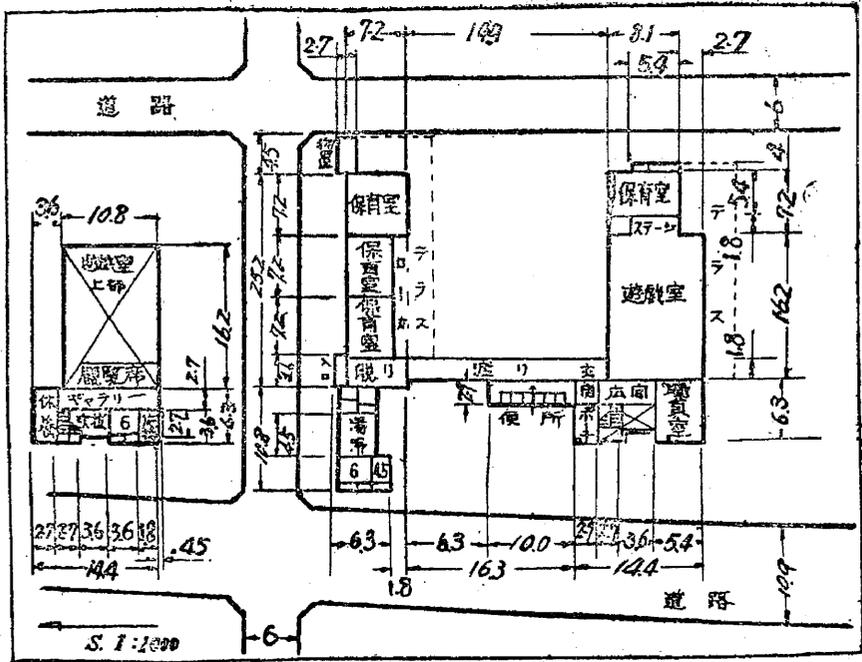
自覺の年 副島 ハマ

保育のあり方 吉見 靜江

施設の素顔 小林 彌八

救養について 中山 茂

ユニセフミルクの歌・母心童心・新刊紹介・職場の聲



(六頁より) 熱意にもえるのである。

(以上は筆者の假空の物語である。月餘の病院生活の間、往々傳えられる公私幼稚園の關係(?)とか、保育所、幼稚園の關係(?)とかいうようなことが、見舞客の短い話の端から漏れ、打消しながらも氣にもかよる。保育理禎都市A市の話は、その病床でのうつら／＼の夢の口述である。乞う諒せられよ。)

(一二頁より) 近世の教育思潮に侮りおたい力を有した功利教育と結びついている。しかし、近世には知識の教授を除いて功利的な試行錯誤的教育が考えられておらないが、それはこのような方法が自然現象に觀察せられないことが一因であつたと云える。しかし、以上の自然教育法と成童期以後に再び立志を利用して現れる自然方法以外は、近世にはすべて詰込式教育方法がとられた。この注目的な嚴格な形式を重視する教育法に對して、遊びによる教育法は、權道として考えられ、ある時期において正道の教育に移るために劇然とした段階を作らなければならないとせられていた。すなわちその段階までの教育作用は消極的な意味しか持たされることが多かつたが、これが近世に幼児期が非教育的な時期であるとせられる大きな原因となつた。(つづく)

(三九頁より)

### (5) 六歳兒の發達的特質

六歳兒の特質は大體において五歳兒の連続であるといつていい。本質において幼兒的である。このことを念頭において順調に行きよように心がけたいと思う。